



# もりや仙一郎便り

## 県政報告 Vol.27

### 山形県議会9月定例会 一般質問

9月27日の、山形県議会9月定例会で一般質問を行いました。今号では3点の項目についてご紹介致します。

#### 山形空港の利用拡大について

◆森谷仙一郎

山形空港は東日本大震災時に東北の太平洋側の代替空港として力を発揮した。

震災前の2月の搭乗率は東京便で36・8%、大阪便で43・4%と、航空路線の採算ラインである60%を大きく割り込んで

いた。それが震災後の搭乗率は85・90%と高い水準で推移している。この流れを止めてはいけない。高い搭乗率の要因は、山形県民が震災時に新幹線が利用できず、速達性の高い飛行機を利用し、その利便性を再認識し、ピーターになっていくの

ではないかと思う。さらなる利用拡大の方策の充実に努めるべく、これまでになく取り組みをしなければいけない。

◆企画振興部長

山形空港の利用者の増加は、空港の利便性向上、機能強化を計る上で極めて重要であり、そのためには利便性の高いダイヤ設定、競争力のある

山形空港の利用者の増加は、空港の利便性向上、機能強化を計る上で極めて重要であり、そのためには利便性の高いダイヤ設定、競争力のある

山形県観光組合に組合数の変動を聞いたところ、山形県内の平成元年1月時点での旅館組合数は576件。今年1月では37%減の367件。減少の原因は倒産、廃業、後継者不足など。

山形へ東京便の複数便化、機材の大型化に向けては、10月30日からの下期ダイヤにおいて往復ともに午後の1往復となり、運航機材が50人乗から78人乗になった。新ダイヤ

#### 一般質問内容

- ①豪雨災害への対応力の強化について
- ②省エネルギー対策について
- ③山形空港の利用拡大について
- ④観光の振興について
- ⑤県内の若者支援について
- ⑥スポーツの振興について

また、下期ダイヤ改正で大阪便が、山形出発の第一便が現行より2時間45分早くなり、希望していた大阪日帰りが可能となった。関西出張などビジネス利用の利便性が高くなり、空港利用の拡大にもつながっている。

#### 修学旅行 空港利用を推進



山形県観光組合に組合数の変動を聞いたところ、山形県内の平成元年1月時点での旅館組合数は576件。今年1月では37%減の367件。減少の原因は倒産、廃業、後継者不足など。

山形へ東京便の複数便化、機材の大型化に向けては、10月30日からの下期ダイヤにおいて往復ともに午後の1往復となり、運航機材が50人乗から78人乗になった。新ダイヤ

#### 天童 倉津川の現状を訴える



◆森谷仙一郎  
こと8月17日から庄内を中心に300〜400mmの降雨があり、同地域の河川では護岸決壊などの被害が起きている。7月下旬には福島・新潟に局地的な豪雨、台風12号では西日本で死者・行方不明者が100名を超え、台風15号では名古屋で100万人に避難勧告されるなど市民生活に多大な影響があった。近年、このような局地的な豪雨が多く起きている。

山形県でも対策を講じなければならぬ。山形県の降雨量は、1時間あたり30mm以上の降雨発生回数は20年前と比べて倍増している。このように、肝心の河川・砂防事業費は10年前の1/7と激減している。整備率は50%ほどからあまり変化がない。県民視点で見ると、自然災害が増加する一方で、河川整備は不十分だ。

市河川区域での水害解消など、必要性、緊急性、重要度の観点から各河川の優先度を評価して実施している。この中期計画は、この10年間の取り組み内容をまとめたものだ。内容は、社会情勢や財政事情、さらには降雨・出水の状況等に大きな変化があった場合、必要に応じて検証し、その見直しを行う。

山形を訪れているようだ。資金繰り・雇用も厳しい現状がある。観光の現状は非常に厳しい。融資枠の拡大、運転資金の新設などの要望もある。

## もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3 丁目 4-17

もりや仙一郎 検索

http://blog.goo.ne.jp/furusato-08

ブログにて、日頃の活動の報告を公開しております。 QRコードでアクセス